

東北防衛局

鉄塔改修設計など公告

12、19日まで2件受付

東北防衛局は、仙台外(26)鉄塔改修等建築設計など2件を電子入札方式の一般競争入札で発注するため公告した。申請書及び技術資料の提出期限は9月12日、19日12時まで。入札書の提出は10月8日9時から10月10日15時、10月16日9時から10月20日15時まで。開札は10月16日、22日に行う。

既設空調機撤去設備設計、既設導波管撤去、既設導波管フタ改修に係る設備設計【空白】三沢基地(局舎(RC-2約500㎡)改修に伴う空調機更新、通信設備改修、電気設備改修設備設計)既設空調機撤去設備設計、既設導波管撤去、既設導波管フタ改修、野外空中線設備更新に係る設備設計【海自】三戸郡五戸町地区(倉石通信中継所)局舎(RC-2約160㎡)改修に伴う既設監視・防犯設備撤去、電灯・幹線設備改修、トイレ改修、トイレ改修に係る設備設計

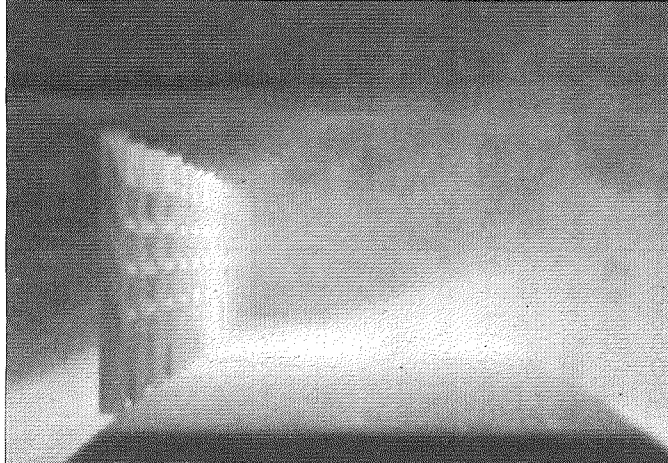
平均が65点以上であること。申請書及び技術資料の提出期間 9月12日12時まで。提出場所 担当部局。提出方法 電子入札システムによる提出。申請書及び技術資料が3MBを超える場合は、入札説明書による。紙入札方式による場合は、持参・郵送もしくは託送(大臣認定取得)【五戸町地区(倉石中継所)】既存局舎屋上に設置された鉄塔(H約延べ65m、鉄塔部H約55m、局舎軒高約10m)の補強(地震応答解析による設計業務)について、平成16年4月1日から完了した業務のうち、平成24年度及び平成25年度に完了又は引渡しが完了した業務の実績がある場合は、評定点の

提出。紙による場合は(持参)入札説明書の交付 10月21日22時まで。開札日時 10月22日9時45分(東北防衛局5階電子入札室)業務内容 以下に掲げる工事の実施設計を行う。【仙台市地区】鉄塔(地上式H約100m)補強(地震応答解析による構造設計及び国土交通大臣認定取得)【五戸町地区(倉石中継所)】既存局舎屋上に設置された鉄塔(H約延べ65m、鉄塔部H約55m、局舎軒高約10m)の補強(地震応答解析による設計業務)について、平成16年4月1日から完了した業務のうち、平成24年度及び平成25年度に完了又は引渡しが完了した業務の実績がある場合は、評定点の平均が65点以上であること。

提出期間 9月19日12時まで。提出場所 担当部局。提出方法 電子入札システムによる提出。申請書及び技術資料が3MBを超える場合は、入札説明書による。紙入札方式による場合は、持参・郵送もしくは託送(大臣認定取得)【五戸町地区(倉石中継所)】既存局舎屋上に設置された鉄塔(H約延べ65m、鉄塔部H約55m、局舎軒高約10m)の補強(地震応答解析による設計業務)について、平成16年4月1日から完了した業務のうち、平成24年度及び平成25年度に完了又は引渡しが完了した業務の実績がある場合は、評定点の平均が65点以上であること。

併設の雪氷技術研究設備 風洞実験室を一般公開

防風防雪用のトップメーカーである理研興業(株)は、本社・北海道小樽市・柴尾耕三社長は、同社に併設している雪氷技術研究設備である風洞実験室を一般公開する(10月10日)とした。雪国における冬の交通障害の要因である吹き溜まりは、雪の粒子が風により転動・躍動・浮遊しながら移動し、風の弱い場所と剥離し堆積することによる。風洞実験は、この吹き溜まりの移動形態を再現できることが最大の特徴であり、試験品による現地観測よりもコストを低減できる。同社では平成元年に風洞実験装置を導入し、様々な製品開発研究や検証実験に活用してきた。



風洞可視化実験

吸着剤として広く用いられているがその「安息角」(自発的に崩れることなく安定を保つ)が使用されるのは活性的な表面に微細な孔を有した粉体で石油や油脂の表面積が大きい。斜面の最大角度)や、「移動臨界摩擦速度」(粒子が移動を開始する時の摩擦速度)の値は自然雪と相似しており、模擬雪に適用している。平成16年には道立北方建設総合研究所・防災科学技術研究所雪氷防災研究センターの指導により、自然界で気境界層が影響を受ける地表面の粗度、風速分布、並びにべき指数の値について基本案がとりまとめられた。これらを用いることで高精度の風洞実験を行い、より現実に近い吹

き溜まりを再現することが可能となった。また昨年には、数値シミュレーション(流体解析)ソフトを導入し、複雑な地形や3次元での風の流れを解析できるようになった。可視化実験結果や堆積実験結果と、数値シミュレーションによる解析結果を融合させることで、吹き溜まりの視程距離を導き出すことができる。防雪柵設置前後の数値を比較しその効果が確認できるため、効果的な防雪柵設置を検討することが可能となる。

同社のこのような取り組みには多方面から関心が寄せられ、様々な視察等が行われている。一例として、昨年8月には千歳科学技術大学の学生がインターンシップにて風洞実験装置による研究開発を体験した。本年1月には北海道放送の「報道番組『今日ドッキリ』」で地吹雪模様を再現している実験現場が紹介され、6月には佐呂間土木技術者協会が視察に訪れた。さらに9月には釧路建設業者15社程度による大規模な視察も予定されている。

弘前市 佐藤惣JVが落札 堀越城跡三之丸整備

弘前市は9日、史跡堀越城跡三之丸(国道西側)地区整備工事を条件付き一般競争入札で実施した結果、佐藤惣・東北建設JVが1億3151万円(消費税別)で落札した。これまでは外部公開されていなかった。側地区整備工事 施行地 大字堀越地内 工期 12月25日 佐藤惣・東北建設JV 1億3151万円+税分 決定 参加業者 佐藤惣・東北建設JV クリエイト・永澤建設 工事JV 予定価格 1億4203万5120円(消費税込)

鴨沢塗料 塗料と塗装資材 020-51-0105